

02

Vol.35

第16期

2026年

在住協通信



一般社団法人 日本在来工法住宅協会
Japan Traditional Wooden Home Association

伝統の技術を未来へ。

Interview File no. 15

会員インタビュー

桶川第一・第二支部長

株式会社新井建設

代表取締役

新井 和弥 さん



今月号の見出し

- ・会員インタビュー
- ・自治体補助制度検索サービス
- ・多言語医療サポート窓口開設
- ・支部長会議開催
- ・新規会員のご紹介
- ・在住協事務局便り
- ・お知らせ
特別教育受講者募集



在住協通信のナビゲーター
在住 協子です!

Zaijyu Kyoko's
Pickup!

新井さんは在住協支部長として、会員同士のコミュニケーションを大切にしながら、協会の活動にも積極的に関わってくださっています。仕事への直結ではなく、「お互い様」の気持ちでつながり、いざという時に電話し合える仲間が増えることが、結果として現場や有事の支えになる。そんな実感のもとに、協会の場をあたたく盛り上げてくださっています。

おすすめの愛用道具



ITツールを使いこなす新井さん。
現場の段取りを支える要です。

(2025年12月9日撮影)

「家を作ることしかできない」と思った仕事の分岐点 肌にあった職人の世界

車が大好きな新井さんは高校卒業後、ガソリンスタンド勤務を経て、中学時代の先輩の誘いで大工の世界に入りました。軽い気持ちで始めた仕事でしたが、初日に親方から「どうせ辞めるなら三日で辞めろ」と言われ、その後も節目ごとに声を掛けられながら現場に根づいていきます。当時の職人の雰囲気やものづくりが肌に合い、結局辞めたいと思ったことは一度もなかったそうです。

1997年の消費税増税後に仕事が激減。子どもの誕生とも重なり、親方の勧めを受けて独立。一人親方として働く中、盲腸で脂汗を流しながら現場に戻った経験が、「一人でやっていく怖さ」を実感するきっかけになったと振り返ります。

外国人を雇用する受入企業として

(株)新井建設では、技能実習時代から8年間に共にするベトナム人のロンさんが、2025年に特定技能2号に合格しました。

「一番危ないのは受入企業の無知。最低限のルールを知らないと、企業も本人も損をして、法を犯してしまうことにもなる」と新井さんは語ります。登録支援機関に頼るだけでなく、企業自らが学び続ける姿勢が重要だと改めて感じました。

建設業許可が支えたあの日の判断

2009年に法人化した新井さんの事業は、2011年の東日本大震災で最大の危機を迎えます。当日は静岡の現場におり、夜中に東京へ戻る車中で「もう収入が途絶える。終わった」と本気で思ったそうです。暗い道を走りながら行き着いたのが、「自分には家を作ることしかできない」という結論でした。そこから仮設住宅建設を思い立ちます。

翌朝には国や業界団体へ連絡を取り、事前に取得していた建設業許可も功を奏して、福島県での仮設住宅建設を受注。原発事故の不安が残る中でも仲間に声をかけ、全員で現地へ向かいました。過酷な短納期の現場で培われた経験は、基礎から外装までを担う多能工体制を生み、現在の事業の礎となっています。



ロンさん夫妻と奥様と4人でテーマパークへ。
今では息子のような気持ちで見守っているそう。

担い手確保（雇用・資格取得に関する支援制度）に関する 自治体別 補助制度検索サービスのお知らせ

情報ポータルサイト「大工を育てるNET」に、地方公共団体における職人（一般社員含む）の雇用、資格取得に関する支援制度が都道府県・市町村別に検索できるコンテンツが追加されました。所在地にあわせて、補助制度が一度に検索できます。

都道府県を選択

活用できる制度がないかぜひ一度ご確認ください。



都道府県から自治体別に検索できます（サイトより）



詳細はこちら
クリックするとサイト
へリンクします

1号特定技能外国人（建設分野）向け 多言語医療サポート窓口が開設されました

慣れない土地での病気や怪我は、1号特定技能外国人本人だけでなく、受入企業にとっても大きな不安です。こうした課題に対応するため、建設技能人材機構（JAC）では、多言語医療サポート窓口を開設しました。

外国人本人のスマートフォンから、病院探し・予約・診察時の医療通訳までを24時間体制で支援します。
通話料・通訳料は無料。安心して働ける環境づくりをサポートするサービスです。



詳細はこちら
クリックするとサイト
へリンクします

支部長会議 第16期 下期 支部長WEB会議を開催しました

今期事業の進捗共有と来期計画策定に向けた意見交換を行いました。会員募集や安全衛生、外国人雇用など各支部長から発言があり、工夫や課題について活発な情報共有が行われました。これからも全国支部長の連携強化を図って参ります。引き続き協会活動へのご協力をお願い申し上げます。



1月20日開催

1月21日開催

在住協事務局便り 来期事業計画の準備中です

ただいま事務局では、来期事業計画の策定に向けて準備を進めています。これまで少しずつ活動の幅を広げてきましたが、来期も会員の皆さまと共に取り組んでいきたいと考えています。

また、2月28日最終提出期限の会員調査は、助成金申請に必ず必要です。回答不足の場合、事業実施に影響が出る可能性があります。何卒ご理解いただき、提出のご協力をお願いいたします。

【会員調査】



こちらのフォームより
ご回答をお願いします



事務所での打合せ風景

We are members!



新規会員のご紹介

柏安全協力会様 2件
菊水化学工業株式会社協力業者様 12件
京都安全協力会様 4件
千葉安全協力会様 4件
成田安全協力会様 2件
新潟安全協力会様 4件
松戸安全協力会様 4件
株式会社原田工務店（大阪府）
株式会社誠建工社（大阪府）
株式会社達石工務店（岐阜県）

新規入会の皆様
末永くよろしくお願い致します

お知らせ

足場の組立て等作業従事者特別教育 10名限定 特別企画の受講者募集

受講期間 3/2（月）～3/22（日）

※期間中のご都合の良い時間に
分割受講可能です

参加費 10名限定 無料【残席僅か】

※先着順（但し、中小建設社員
の方を優先して受付いたします）

参加条件

- ・ 足場に関わる業務に従事する方
- ・ インターネットが利用できる環境がある方
- ・ カメラ付きのスマホ／PC／タブレット等が用意できる方
- ・ 「受講の注意事項」を全てご理解いただける方

カリキュラム 合計7時間16分

- ・ 足場及び作業の方法に関する知識など

※安全衛生特別教育規程第22条（足場の組立て等の業務に係る特別教育）に基づき実施します。

詳細はこちらの在住協HPをご確認ください



受講の注意事項をよくご確認の上、お申込みをお願いいたします。



お友達追加をお願いします！



発行元：一般社団法人 日本在来工法住宅協会

〒108-0074

東京都港区高輪2丁目14番18号 グレイス高輪207

TEL：03-6408-0285 FAX：03-6408-0286

e-mail：zairai@jtha.jp HP：https://jtha.jp/



FAX講読ご利用中のみなさまへ

1. カラーで読みやすいメール講読へ変更されませんか？貴社名・ご担当者様名・メールアドレス明記の上、zairai@jtha.jp までご連絡ください。
2. 配信停止をご希望の場合は、会社名及びFAX番号、「通信配信停止希望」とご記入の上、FAXでご連絡下さい。ご連絡のタイミングにより次月も届く場合がございます。予めご了承下さい。